



Triennale Teatime Talk トリエンナーレ ティータイム トーク

2016年6月26日(日)15:00-17:00 入場無料 会場：大豊商店街(大豊ビルD棟)川徳商店横

He110! トヨハシ アート・カンファレンス～現代アートで豊橋まちなかの魅力をアップしよう!～
主催：豊橋市駅前大通地区まちなみデザイン会議(豊橋市制施行110周年記念事業市民提案イベント)
協力：大豊商店街 お問合せ：建築クロノ TEL:0532-56-0170 E-mail:y-qlo@mx3.tees.ne.jp

お題：まちからはじまるトリエンナーレ?

あいちトリエンナーレ2016は3年ごとに開催する国際芸術祭です。今回は「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」をテーマに、2016年8月11日から10月23日まで名古屋、岡崎、初めて会場となる豊橋では、この水上ビルもまちなかの会場となって作品が展示されます。

トリエンナーレ ティータイム トークはアーティストやその関係者などと来場者とアートについて気軽に触れ合う機会を考えています。今回は、2010、2013の長者町会場の担当を務めた吉田有里と2016の豊橋会場を担当している加藤慶の2人が、まちから発信、展開するアートプロジェクトについて語っていただきます。

ちょっと一服、お茶でも飲みながら、皆さんとお話しできたら嬉しいです。

吉田 有里 YOSHIDA Yuri

MAT, Nagoya プログラムディレクター / 港まちづくり協議会

1982年東京都生まれ。名古屋市在住。多摩美術大学大学院美術研究科芸術学専攻修了。2004年～2006年芦立さやかとともに「YOSHIDATE HOUSE」(横浜)を運営。2004年～2009年 BankART1929 勤務。2009年～2013年あいちトリエンナーレのアシスタントキュレーターとして、まちなか展示の会場である長者町エリアを担当。現在は、名古屋の港まちをフィールドにしたアートプログラム Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya] を進行中。

加藤 慶 KATO Kei

あいちトリエンナーレ2016 アシスタントキュレーター

1981年神奈川県育ち。名古屋市在住。多摩美術大学大学院美術研究科デザイン専攻コミュニケーションデザイン領域終了。

2008年～2015年相模原市民ギャラリー、アートラボはしもと勤務。近年では、「Super Open Studio DRIVE! (黄金町バザール2014)、ズンマチャングのかけら箱(六本木アートナイト2015)」などを企画。2016年より、あいちトリエンナーレ2016の豊橋エリアを担当。